

(公 印 省 略)
平成 2 2 年 7 月 2 2 日

関 係 各 位

南但広域行政事務組合
農業共済事務所次長

平成 2 2 年度（第 3 回）水稻病虫害発生状況調査及び生育診断圃調査の
結果について（通知）

平成 2 2 年 7 月 2 2 日（木）に実施しましたみだしの調査について、下記のとおり結果を通知いたします。

記

いもち病	今回の調査では、発病が見られません。 今後の気象と発生状況に十分注意してください。
紋枯病	今回の調査では、発病が見られません。 今後の気象と発生状況に十分注意してください。
ウンカ類	セジロウンカの発生がほぼ全域で認められますが、少ない発生です。 今後の情報に注意してください。
カメムシ類	今後、出穂とともに、カメムシなどの発生が多くなります。水田内 や転作田、休耕田のヒエ、エノコログサなどの除草を実施してくだ さい。穂揃期～糊熟期がカメムシの防除適期です。
生育状況	天候が好転し、草丈は回復してきました。また、茎数は、前年対比 79.8%です。 平均草丈 養父市 86.6cm 朝来市 85.5cm（昨年 85.6cm） 平均茎数 養父市 18.9 本 朝来市 19.1 本（昨年 23.8 本）

（※ 詳細は普及センター、農協の営農指導員又は南但広域農業共済事務所職員に
お問い合わせください。）

※ 次回の調査は8月5日（木）の予定で、最終調査となります。

【お問い合わせ先】

南但広域行政事務組合農業共済事務所
TEL 079-672-5500
担当 松田・藤原